

放鳥から4年が経って、

コウノトリは人里近くで暮らし、

豊岡の郷を華やかに演出する



写真展

平成21年9月12日(土)～11月23日(月・祝)

コウノトリのいる風景

豊岡を訪れた野生のコウノトリ「ハチゴロウ」や野生復帰したコウノトリたちが、田園風景のなかで暮らしている様子について、「コウノトリ湿地ネットワーク」のメンバーが追跡してきた数々の貴重な記録写真で綴りました。

- 開館時間: 午前10時～午後5時
- 休館日: 月曜日(月曜が祝日の場合は火曜日)
- 観覧料: 大人200円, 大・高生150円, 中・小学生100円(兵庫県内の中・小学生はココロンカード提示で無料)
ただし、9/30までは、大人100円, 大・高生70円, 中・小学生50円
- 問い合わせ: 〒669-1546 兵庫県三田市弥生ヶ丘6丁目 TEL:079(559)2003 FAX:079(559)2033

2009年9月12日(土) ~ 11月23日(祝)

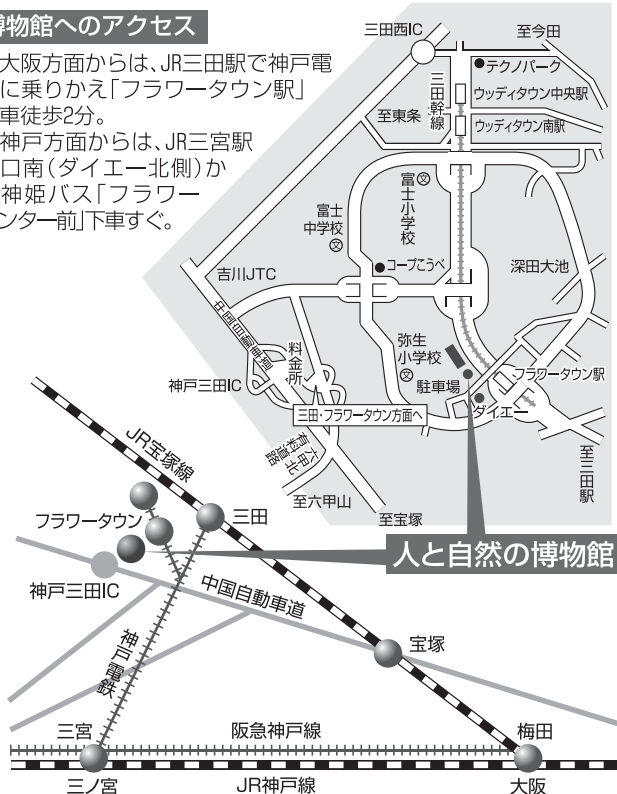
写真展 コウノトリのいる風景



博物館へのアクセス

●大阪方面からは、JR三田駅で神戸電鉄に乗りかえ「フラワータウン駅」下車徒歩2分。

●神戸方面からは、JR三宮駅東口南(ダイエー北側)から神姫バス「フラワーセンター前」下車すぐ。



野生復帰から4年が経過して、豊岡市のあちこちをコウノトリが訪れるようになりました。人々の暮らしのすぐ近くで餌を食べ、巣作りをしています。今回の企画展では、コウノトリの野外追跡や湿地づくりなどの保全活動に取り組んでいる「コウノトリ湿地ネット」のメンバーが撮影した写真を中心に、コウノトリとの共生の様子やコウノトリの様々な振る舞いを80点の写真で紹介します。湿地に舞い降りた野生のコウノトリ・ハチゴロウの姿、自然再生事業の成果として15羽が集まって採餌する様子、学校の裏に舞い降りたコウノトリ、ヘビやバッタを食べるコウノトリなどをまじえて、コウノトリのいる風景を紹介します。また、かつてコウノトリが生息していた時代に写された昔の風景写真72点もあわせて紹介し、かつての風景と今を見比べて頂ければと思います。

主催：兵庫県立人と自然の博物館

共催：コウノトリ湿地ネット

協力：兵庫県立コウノトリの郷公園・豊岡市コウノトリ共生課

開館時間：午前10時～午後5時

休館日：月曜日(月曜が祝日の場合は火曜日)

観覧料：大人200円、大・高生150円、中・小学生100円

(兵庫県内の中・小学生はココロンカード提示で無料)

*9/30までは、大人100円、大・高生70円、中・小学生50円

問い合わせ：〒669-1546 兵庫県三田市弥生ヶ丘6丁目

TEL: 079(559)2001 FAX: 079(559)2007